



結節性痒疹： 認知度、診断、管理、QOLの向上

touchPANEL DISCUSSIONの診療補助

詳細については、www.touchimmunologyime.orgをご覧ください。

実践的なケアと管理

疾病負担の評価

- PNは、かゆみが中心的な役割を果たす重篤な疾患です。患者は強いかゆみを経験し、しばしば灼熱感やチクチク感などの痛みを伴う感覚症状を伴います¹
- 対症療法的な局所療法や全身療法を開始する前に、PN患者は、基礎疾患の治療とともに慎重な診断評価を受ける必要があります²
- 痒みの期間や強さなどPNの重症度を評価するだけでなく、疾患負荷の原因となる他の要素についても評価する必要があります^{2,3}
- 不安や抑うつに関連する行動的・感情的サポートの必要性も評価されるべきです³

PN疾患の負担は多因子³

生活の質の低下：

睡眠不足
欠勤・休学
感情的影響：抑うつ、不安、怒り、羞恥心、無力感
社会的孤立



合併症：

肝機能、腎機能、甲状腺機能の低下
糖尿病
HIV
B/C型肝炎ウイルス
悪性腫瘍

患者の治療目標の設定

- PNを管理する際には、医師が個々の患者の治療目標を考慮することが重要です¹

一般的な患者の治療目標¹



かゆみの改善
 病変の改善
 睡眠の改善
 痒疹の起源を知る
 通常の日常生活
 心理的負担の改善
 違和感なく服を着ることができること
 痛みの改善
 医師への依存度が低い
 治療に対する自信



- PNの治療は、厳密な段階的アプローチではなく、臨床的判断に基づくべきです³
- 治療の目標を達成するためには、局所療法、全身療法、光線療法を含む多剤併用療法を実施する必要があります⁴

治療に関する考察

- Dupilumabはインターロイキン4とインターロイキン13を阻害するモノクローナル抗体で、PNの治療に特化した初めての薬です⁵⁻⁷
- 治療には、そう痒症の神経学的メカニズムと免疫学的メカニズムの両方を標的とした治療が必要です³
- 治療は、患者の個々のニーズに合わせて行う必要があります³

臨床症状



前治療に対する反応



併存疾患



- 多くの場合、治療目標を達成するためには、保湿剤を含む外用剤、全身薬、心身医学的治療を組み合わせる必要があります²



略語

HIV	ヒト免疫不全ウイルス
PN	結節性痒疹
QOL	クオリティ・オブ・ライフ

参考文献

1. Pereira MP, et al. *Acta Derm Venereol.* 2021;101:adv00403.
2. Ständer S, et al. *Itch.* 2020;5:e42.
3. Elmariah S, et al. *J Am Acad Dermatol.* 2021;84:747–60.
4. Kowalski EH, et al. *Clin Cosmet Investig Dermatol.* 2019;12:163–72.
5. FDA. Dupilumab PI. 参照：
www.accessdata.fda.gov/drugsatfda_docs/label/2022/761055s044lbl.pdf
(2023年9月7日参照)。
6. EMA. Dupilumab SmPC. 参照：www.ema.europa.eu/en/documents/product-information/dupixent-epar-product-information_en.pdf (2023年9月7日参照)。
7. Yosipovitch G, et al. *Nat Med.* 2023;29:1180–90.



この診療補助資料に提供されているガイダンスは、患者のケアに直接影響を及ぼすことを意図していません。臨床医は常に患者の状態と潜在的な禁忌を評価し、関連するメーカーの製品情報または他の当局の推奨事項を見直した上で、ここに記載されている治療や投薬、その他の診断や治療のコースを検討する必要があります。

弊社の診療補助資料の内容は、製品や使用を黙示的に推奨するものではありません。touchIMMUNOLOGY™ は、情報の正確性、妥当性、完全性を保証するものではなく、いかなる誤りや脱落についても責任を負いません。

この疾患の詳細情報は、ハッシュタグ#PrurigoNodularisLeague (Facebook、Instagram) を使って入手できます。